

グループで
話そう

実は毎日の生活と つながっている!

「子どもの権利」と
自分たちの生活の
関わりを考えてみよう



安心して参加できるように

今日の約束



一人ひとりの意見や考えを大切にします。



相手を一方的に否定したり、ばかにしたり、攻撃したりしません。



話したくないことや言いたくないこと、個人的なことは話しません。



今日ここで、だれが何を話したのかを他の人に言いふらしたりしません。



みんなが参加し話せるように協力します。

今日、自宅（住んでいるところ）を出てから 今までにしたことをワークシートに書いてみよう

例

保健室で休んだ

授業で実験をした

お昼ごはんを食べた など

ここで書いたことをこの後のグループワークで話し合います。

他の人に
話してもよい
ことだけを
書きましょう。



特に思いつかなければ、
「これからしたいこと」でも
問題ありません。

ワークシートに書いたことと関係がありそう、
つながると思う「子どもの権利」を探してみよう
できれば理由も書いてみよう

例

保健室に行った



24条 いつでも健康でいるために
保健・医療サービスを受けることや、
子どもの健康を害するような習慣を
なくしてもらう権利があります。

どんな
答えでも大丈夫。
自分の考えを
書いてみよう。



ワークシートに書いたことを グループのメンバーに共有しよう

グループの中で、
何回も出てくる
権利はあるかな？



自分一人では
気づかなかった

「関係のありそうな権利」を
グループのメンバーと
考えてみよう！



実は毎日の生活とつながっている！



実は、みなさんのふだんの生活と
子どもの権利は
さまざまな形でつながっています。

子どもの権利の成り立ちについて一緒にみていきましょう。

子どもの権利は、どのように生まれたの？

第一次世界大戦

子どもを含む多くの一般市民の犠牲（ぎせい）

1924年 「ジュネーブ子どもの権利宣言」が国際連盟で採択される

第二次世界大戦

特定の信仰の人、障害者、LGBTQ、異なる言語・文化の人、
戦争に反対した人などの 組織的な大量虐殺（ぎゃくさつ）

それまでは、「人びとは国ごとに守られるべき」と考えられていましたが・・・

「平和」と「人権」は
切りはなせない



国境をこえて
人権を守る必要がある

1948年12月10日 「世界人権宣言」 が採択される

子どもの権利は、どのように生まれたの？

子どもの権利は、国際的な条約

「子どもの権利条約」でさだめられています

1989年 国連で採択

1994年 日本政府の批准（国として守ることを約束）

子どもの権利は、すべての子どもに生まれながらにあるもの

- ☒ 誰であっても、どこにいても、どんな状況でも
- ☒ 何かを証明したり、義務や責任をはたしたりしなくても
- ☒ 大変な状況の時だけでなく、日々の生活でも



どうして、子どもの権利は大切？

たまたま、
権利を守ってもらえない
環境に生まれたり、
環境が変わったりしたら・・・
しかたない？



いいえ、
そんなことは
ありません。

どこにいても

だれであっても

環境が変わっても

- 人として大切にされる「よりどころ」=人権／子どもの権利
- 身近な権利も、今はあまり身近ではない権利も大切

「これまでのステップでは出てこなかったけれど、 大切だと感じる子どもの権利」について、 グループで話し合ってみよう

「その権利が自分にとって大切になるのは、どんなとき？」と
想像してみよう。

すこし
一人で考えてから
グループで
話そう！



どんな意見が出たか、ふりかえろう

1

毎日の生活と
つながりのありそうな
子どもの権利



2

今は身近ではないが
大切だと感じる
子どもの権利

